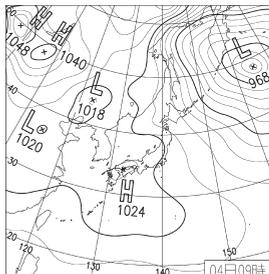


# 日々の天気図

— No. 181

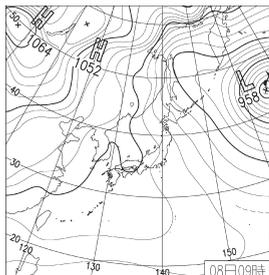
## 2017年2月

- 9～14日、鳥取大雪で、車や列車の立ち往生発生。休校も相次ぐ。
- 17日、関東「春一番」で巻き上げられた砂塵は衛星画像で分かる程に、小笠原諸島の少雨に関し情報発表。昨年5月1日～今年2月16日までの期間降水量は平年の5割以下。
- 20日、宮崎県の路上で落雷事故。  
(気象庁予報部予報課)



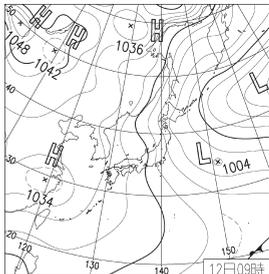
### 4日(土)穏やかな立春

日本付近は移動性高気圧に覆われ、概ね晴れて穏やかな天気。九州では夜遅くから雨。全国的に気温高く、最高気温は北海道を除く地点のほとんどが3月上・中旬並。



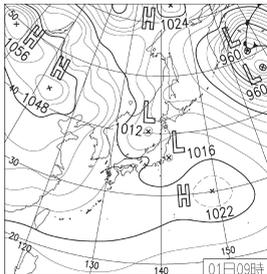
### 8日(水)西から天気下り坂

冬型の気圧配置は西から次第に緩む。夜には日本海西部と四国の南で低気圧が発生し、西日本で雨や雪。太平洋側は東日本を中心に晴れ。那覇市でヒカンザクラが満開。



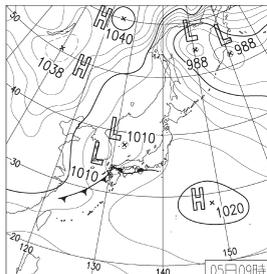
### 12日(日)鳥取大雪ピーク過ぎる

冬型気圧配置続き、日本海側中心に雪。最深積雪は広島県高野146cm、鳥取県倉吉61cmなど2月1位。鳥取県大山で264cm、西～東日本太平洋側は概ね晴れ。岡山県で突風被害。



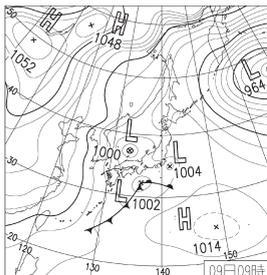
### 1日(水)冬型に移行

北日本を低気圧が急速に発達して通過し冬型の気圧配置へ。東～北日本や西日本日本海側で雪や雨。全国的に風が強まり北海道えりも峠で最大瞬間風速32.5m/s。宮崎市でウメ開花。



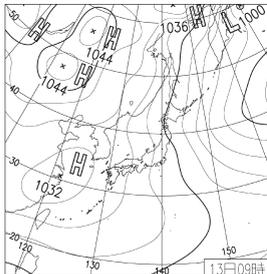
### 5日(日)2つの低気圧による雨

前線を伴った低気圧が本州付近を東進し、九州中心に西～東日本は広範囲で雨。夜は別の低気圧が発達しながら日本海を東進し、東北でも雨や雪。長崎県福江で36mm/1h。



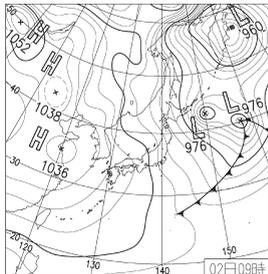
### 9日(木)水戸で積雪12cm

北海道太平洋側と九州の一部で晴れたほかは低気圧の影響で雪や雨。最高気温は西～東日本で太平洋側中心に平年より4～7℃低め。熊本県峰山で初冠雪。富山市などでウメ開花。



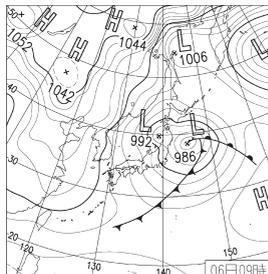
### 13日(月)冬型は次第に緩む

太平洋側は概ね晴れ、日本海側は曇りや雪または雨。最低気温は北日本で平年より10℃以上高く4月並の所がある一方、西～東日本は厳しい寒さの所も。奄美市ヒカンザクラ満開。



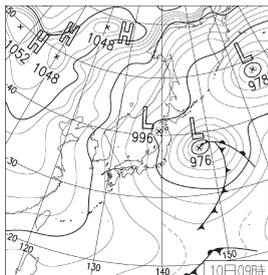
### 2日(木)冬型の気圧配置強まる

全国的に風強く北陸～北日本日本海側では大雪でふぶく。福島県松枝峠で日降雪量70cm、山形県飛鳥で最大瞬間風速30.7m/s。北海道全てを含む294地点で真冬日。水戸市でウメ開花。



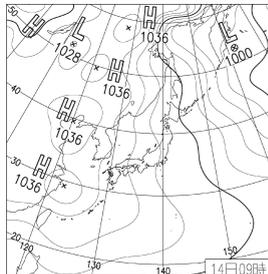
### 6日(月)低気圧通過し寒気流入

三陸沖で低気圧発達し次第に冬型気圧配置。全国的に暖かい朝も夜には寒さ戻る。山陰～北陸、東北で雨や雪でも雷も。最大瞬間風速は北海道えりも峠30.9m/s。熊本市などウメ開花。



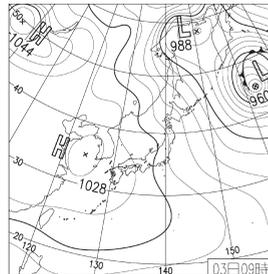
### 10日(金)西日本で大雪

強い寒気入り西日本日本海側を中心に大雪。太平洋側でも所々雪。兵庫県宛和野高原で史上1位の日降雪量98cm。鳥取でも65cmで2月1位。宮崎県鱒塚山で初冠雪。宮崎・銚子で初雪。



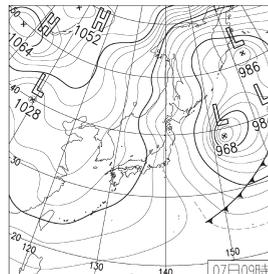
### 14日(火)上空の気圧の谷通過

寒気を伴う気圧の谷が通過。9時輪島上空約5500mの気温-38.5℃は平年より10.8℃低い。寒気に伴う降水域が西日本から東進し、午後東日本に。南大東村でヒカンザクラ満開。



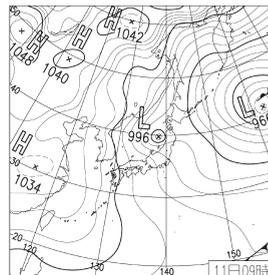
### 3日(金)西日本では冬型緩む

西～東日本は日本海側など一部を除き晴れ。近畿以北の日本海側は雨や雪。最高気温は平年より4℃以上高い所も。徳島市でウメ開花。熊谷市では平年より16日早くヒバリ初鳴。



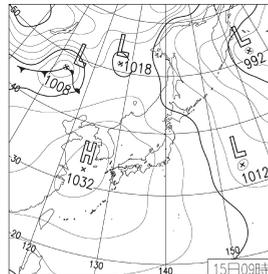
### 7日(火)東北でふぶく

冬型の気圧配置が強まり全般に風強く、北日本や西～東日本の日本海側中心に雪。東海の一部でも。東北はふぶいて大雪。栃木県那須高原で最大瞬間風速28.4m/s。



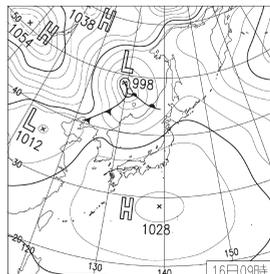
### 11日(土)西日本などで大雪続く

上空約5000mの-39℃以下の寒気で強い冬型の気圧配置が続き、山陰～北陸を中心に大雪。鳥取の最深積雪は91cmで33年ぶりに90cm超。滋賀県柳ヶ瀬で2月1位の日降雪量61cm。



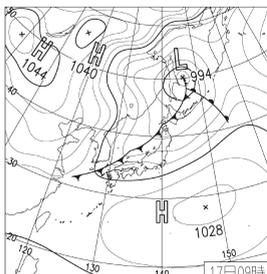
### 15日(水)山陰の雪止む

冬型の気圧配置が西から緩み、降り続いていた山陰の雪は止む。北陸～北日本の日本海側の雪も次第に小降り。最高気温は東北以南で概ね平年並。北海道は3月上～中旬並と高め。



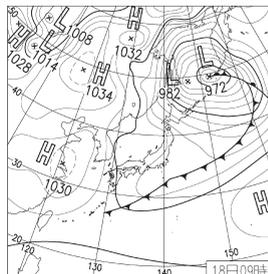
### 16日(木)九州北部で春一番

西～東日本は南から高気圧に覆われ晴れ。北日本は気圧の谷の接近に伴い曇り一部で雪や雨。最高気温は全国的に高く北日本や日本海側などで4月並の所も、彦根市でウメ開花。



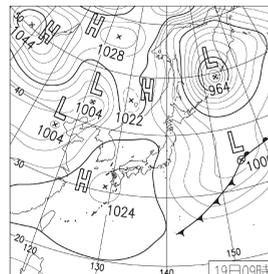
### 17日(金)各地で春一番

サハラ付近の低気圧に伴う寒冷前線が日本海にのび、広範囲で南よりの風が強まり九州南部、四国、北陸、関東で春一番。最高気温も各地で3～4月並。前線通過に伴い雨や雪も。



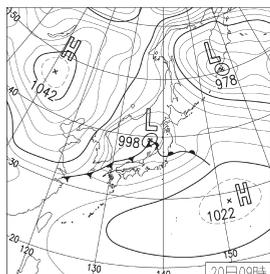
### 18日(土)北日本中心の冬型へ

最低気温はほぼ全国的に平年を上回り、西日本を中心に4月並の所も。夜には上空約5500mで-30℃以下の寒気が西日本にまで南下。日本海側で曇りや雪または雨。



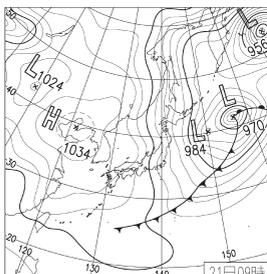
### 19日(日)移動性高気圧

日本の南を移動性高気圧が進み、晴れた所多い。北日本を中心に寒気が残り日本海側で降雪続く。気温は北日本を除き平年並。石垣市でヒカンザクラ満開。千葉・茨城県で震度4。



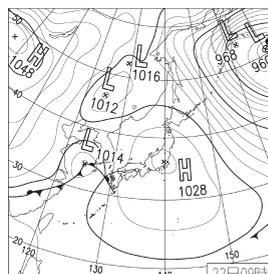
### 20日(月)南風強く気温上昇

日本海低気圧が発達して北日本へ。寒冷前線通過に伴い鹿児島県紫尾山で2月1位の42mm/1h。東京都神津島で最大瞬間風速36m/s。太平洋側は最高気温4月並。近畿・東海で春一番。



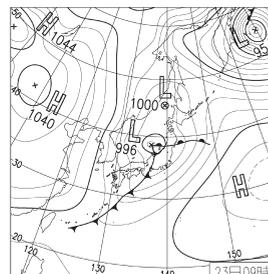
### 21日(火)強風続く

強い寒気流れ込み、西高東低の気圧配置強まる。関東北部～東北で日降雪量50cm前後。風強まり、東京都神津島で最大風速24.7m/sで2月1位。佐賀市でタンポポ開花。



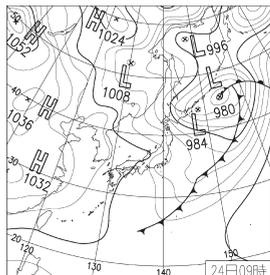
### 22日(水)西から下り坂

高気圧が日本の東へ抜け西から気圧の谷が接近。西日本は次第に雨、東日本は晴れから夜は雨の所も。北日本も一部で雪や雨。沖縄・奄美も曇りや雨。中国地方で風強まり春一番。



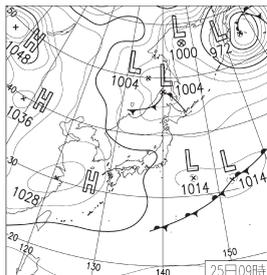
### 23日(木)再び日本海低気圧

20日に続き、前線を伴った低気圧が発達しながら日本海から日本の東へ進む。先島諸島で50mm/1h以上。本州南岸で日降水量100mm超の雨。高知県室戸岬で最大瞬間風速32.9m/s。



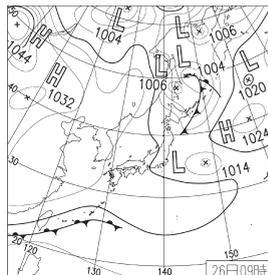
### 24日(金)冬型の気圧配置へ

北陸～北日本日本海側で曇りや雪。南西諸島で曇りや雨。その他は概ね晴れ。最高気温は関東と北海道東部を除いて平年より低。南西諸島では真冬並。流水、太平洋側へ流出。



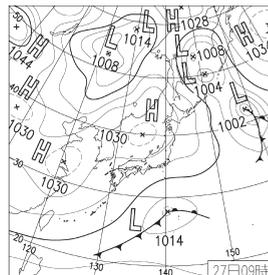
### 25日(土)冬型の気圧配置緩む

高気圧に覆われて概ね晴れたが、高気圧の縁に沿って湿った空気や気圧の谷の影響で沖縄は雨。低気圧や寒気の影響で、北陸以北の日本海側は雪の所も。最低・最高気温とも平年並。



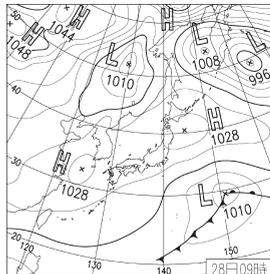
### 26日(日)沖縄近海に前線発生

前線に近い沖縄は曇りや雨。沖縄県旧東で45mm/1hの激しい雨。西～東日本は晴れや曇り。北日本は寒冷前線が通過し、寒気が流れ込んで日本海側を中心に雪や雨。



### 27日(月)帯状高気圧

日本海の高気圧が東へ張り出し黄海の高気圧と日本付近を覆う。日本海側で曇りや雪も次第に晴れ。宮古島市でヒカンザクラ満開。北海道江丹別で最低気温-30.2℃。福島県震度4。



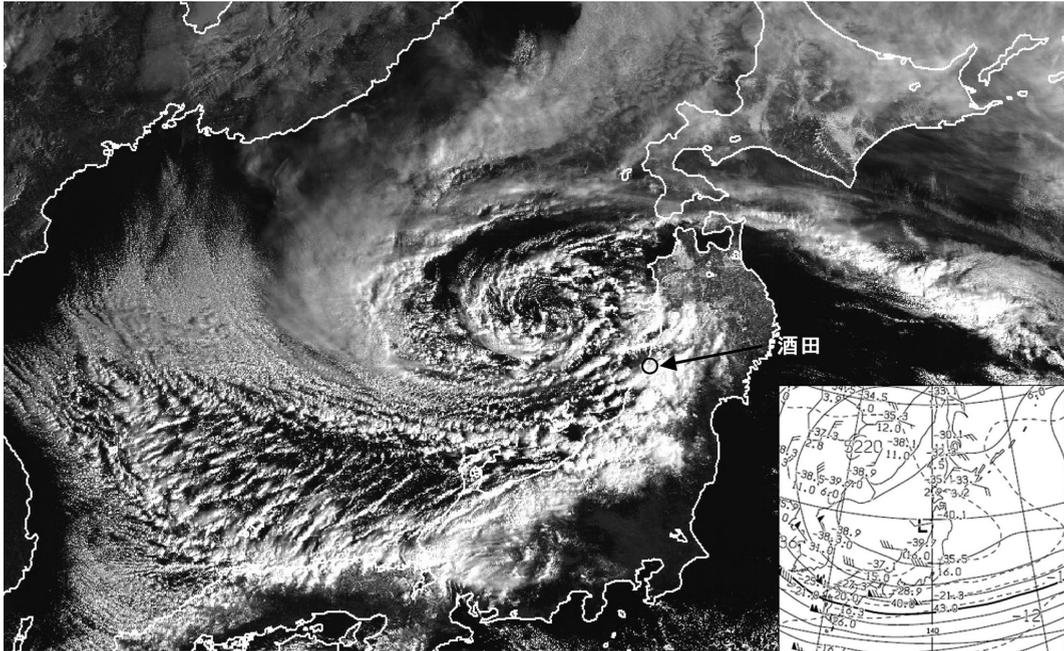
### 28日(火)北日本、朝は冷え込む

東西に広がる帯状の高気圧に覆われ、日中は沖縄・奄美や北海道日本海側などを除き穏やかに晴れる。北日本では最低気温が平年より10℃前後低い所も。福島・宮城県で震度5弱。



## 今月のひまわり画像—2017年2月

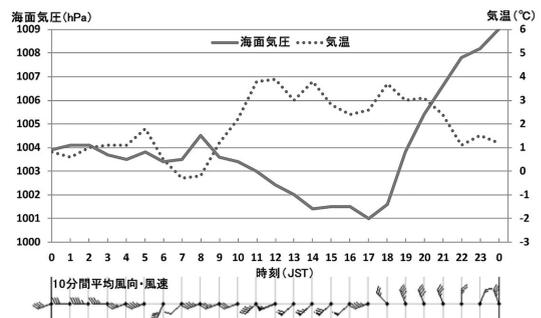
### 日本海で顕在化したポーラーロウ



第1図 2017年2月11日09時（日本時間）の日本海付近における可視画像と同時刻の500 hPa 高層天気図。

2017年2月11日、ポーラーロウが日本海で顕在化した。第1図は、同日09時（日本時間）の日本海付近における可視画像及び500 hPa 高層天気図である。500 hPaの上層寒冷渦の直下に直径約500 kmの渦状の雲システムが確認できる。ポーラーロウは、寒気移流場内で海面から補給される顕熱・潜熱をエネルギー源として、上層寒冷渦などの正渦度極大域の移流に伴って発生・発達することが多い。中心付近で急な気圧下降、周辺で強風を伴い、傾圧性のない場では熱帯低気圧のように渦状の雲システムが形成されることが考えられている。このポーラーロウは、同日17時頃に秋田・山形県境付近を通過した。

第2図は、山形県の酒田特別地域気象観測所における11日の海面気圧、気温、風向・風速の時系列図である。これによると、ポーラーロウ通過に伴う気圧の下降・上昇が明瞭で、最接近した17時頃に最低気圧が観測された。ポーラーロウ接近時の気温は、接近前と比べて3～4℃程度高く推移しており、同様な変化が秋田地方気象台でも観測された（図略）。この気温上昇は、ポーラーロウの中心付近が周囲より暖かかったこ



第2図 酒田特別地域気象観測所における11日の1時間毎の海面気圧、気温、10分間平均風向・風速（矢羽根：長2 m/s、短1 m/s、ペナント10 m/s）。

とを示している。また、酒田では最接近直前の15時に、10分間平均で南西の風14 m/sの強風が観測された。ポーラーロウの通過時には、突風や竜巻、落雷、降雹などをもたらすことがあるため注意が必要である。

（気象庁予報部予報課航空予報室 大野滋規）